

1 国語に関する調査

【特長】

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を、文中で正しく使うことができている。漢字習得はこれまで本校の課題の一つとなっていたので、日々の学習の成果が表れたといえる。
- ・時間の経過による言葉の変化や、世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかを問う問題に正しく解答できた。

【課題】

- ・目的に応じて、日常生活の中から必要な情報を集め、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題が見られた。文章を読むときには、読む目的を明確にして、必要な情報がどのように示されているか文の構成を意識するよう指導する。
- ・目的に応じて、文章と図表等を結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題が見られた。文章を読む際に、文中の語句や情報を丸や四角で囲んだり、線などでつないだりするなどして、どの部分と結び付くのか視覚的に明らかにしながら読む指導を行う。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・角の大きさについて、理解できていた。また、算数の授業内容はよくわかると回答している児童が多い。基本的な知識の習得・定着が図られている。
- ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだす問題に解答することができた。

【課題】

- ・異分母の分数の加法の計算をすることはできているが、通分について説明を求められると、共通の単位分数や言葉を用いて説明することが難しい。授業の中でどのように考えたのか説明する活動を行っていく。
- ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。0から1までが何等分されているのかに着目して、単位分数を捉えることができるよう指導を継続していく。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・問題を解決するために、変える条件や変えない条件を整理しながら実験の方法を発想し、条件を正しく設定し、表現することができる。

【課題】

- ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が十分に身に付いていない。授業の中で行った観察や実験から得られた知識の定着を引き続き図っていく。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- 国語、算数、理科の学習については、苦手意識のある児童がいるものの、学校の授業についてはよくわかる、社会に出たときに役に立つと回答している児童が多い。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができたと肯定的に回答している児童が多い。学習の中で少人数での話し合いや学び合いを大切に、授業を行ってきた成果だと考えられる。

【課題】

- 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつたと回答した児童が多い。学校生活や学習を通して、自分の考えをもって様々なことに挑戦し、やり遂げる経験を繰り返し積んでいく必要がある。
- 集団での話し合い活動では、自分の意見を生かせていないと感じている児童が多く、教科学習だけでなく、学校行事等の活動を通して自信を付けられるようにしていきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 授業のはじめに学習目標を示して、学習の見通しを持たせ、最後のふり返りでは、学んだことを他教科や生活等に幅広く生かしたり、次につなげたりする視点を持たせていく。
- 授業では、安心して質問ができるような環境を整える。また、課題解決の具体的イメージを持って学習を進められるよう、学習の過程でも児童の学びを認め、励ましていくことで意欲を持たせる。
- 課題解決に向けて各自が考え、それを交流しあう中で、思考を整理し、説明するために必要な語彙を獲得できるような学習活動を設定する。
- ICT 機器のさらなる活用で、互いの意見交流が円滑にできるようにしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 学校に行くのが楽しいと感じている児童が多くいます。より充実した学校生活が送れるよう、毎日朝食を摂り、規則正しい生活が送れるようご協力をお願いします。
- 将来の夢を持っていると回答した児童が多くいました。様々な進路実現に向けて、計画的に家庭学習に取り組むことや地域行事の参加等へのご協力や励ましをお願いします。
- 友達関係では、自分と違う考えの友達との関わり方に悩む様子も伺えます。ご家庭でしか聞けない話もあると思います。お子さんの話を聞いて話し合ったり、様子を見守ったりしていただき、ご家庭と学校が連携して子ども達をサポートできるようご協力をお願いします。